

月日	できごと
1 6	ふるさと松山「新春子規さん俳句かるた大会」を初開催
7	道後温泉 空の散歩道がリニューアルし、足湯などが完成 ①
12	花園町通りが「ソノノバ・アワード2018プロジェクトデザイン部門賞」を受賞
15	営業しながら道後温泉本館保存修理工事に着手
20	花園町に松山アーバンデザインセンター、松山ブンカ・ラボが開館 ①
26	平成最後の大会戦 松山城 冬の陣を開催（～3月10日）
27	「いい、つばきの日」記念イベントを開催（フェスティバルは～3月31日）
28	まつイチ体操交流・測定会を初開催
2 1	市立小・中学校83校のエアコン整備が完了し、本格稼働
6	新宿区と夏目漱石をゆかりとした歴史・文化及び観光交流に関する協定を再締結
8	中華民国マラソン協会・愛媛陸上競技協会と第32回オリンピック競技大会に向けた事前合宿等に関する協定を締結
10	第57回愛媛マラソンを開催
16	松山ワカモノ宣伝会議ポスター発表会を開催
17	第13回まつやま農林水産まつり、全国ご当地こなもんサミット2019 in 三津浜を開催（～17日）
22	道後オンセナート2018 フィナーレイベントを開催（～23日）
22	響け!! 言葉 第11回「ことばのがっしょう」群読コンクールを開催
26	坂の上の雲ミュージアム第13回企画展を開催（～令和2年2月13日）
3 29	横須賀市と観光交流都市協定を再締結 松山市立地適正化計画改訂版・松山市地域公共交通網形成計画を公表
4 1	地域包括支援センターが10カ所から12カ所と1サブセンターへ運営体制を変更
5	えひめ中央農業協同組合、松山市農業協同組合と地域福祉・地域保健の推進に関する連携協定を締結
9	(株)エヌ・ティ・ティ・データ、(株)伊予銀行、(株)愛媛銀行、愛媛信用金庫とRPA先進都市まつやまの実現に向けた連携協定を締結
23	第16回坊っちゃん文学賞の作品募集開始（～9月30日） ②
24	河野地区まちづくり協議会設立総会を開催
5 21	「ダイヤモンド・プリンセス」松山港に初寄港
24	えひめ・まつやま動き方改革シンポジウム2019を開催
29	オリジナルアニメーション「火の鳥「道後温泉編」」を配信
29	四国旅客鉄道(株)と観光に関する連携協定を締結
30	高浜地区まちづくり協議会設立総会を開催
30	道後アート2019・2020「ひみつジャナイ基地プロジェクト」がスタート
31	松山市防災教育推進協議会を設立
6 1	スタンダラアプリ「風早ふるさとめぐり88」を配信
5	余土保育園の園庭を芝生化 ②
6	高浜地区自主防災連合会が土砂災害防止功労者表彰を受賞
12	椿中学校が環境大臣から令和元年度地域環境美化功績者表彰を受賞
13	花園町通りが全国街路事業コンクール国土交通大臣賞を受賞
7 1	中島地区ヘリポート運用開始
6	堀江地区に堀江第1雨水排水ポンプ場完成
11	姉妹都市提携30周年を記念し、訪問団がフライブルク市を訪問、エコフレンドシップ協定を再締結（訪問期間は7月9～14日） ③
17	モザンビーク共和国オリンピック委員会とオリンピック代表候補選手の事前合宿実施に関わる基本合意書を調印
18	資生堂ジャパン(株)と椿パートナー協定を再締結
18	エパー航空が運航する松山-台北線の定期便が就航
19	道後温泉本館ラッピングアートが完成
25	U-18チャイニーズタイペイ野球代表チームが松山で合宿（～8月1日）
25	第24回海外高校生による日本語スピーチコンテストを松山で開催
28	中華民国マラソン協会選手団が松山で合宿（～8月22日）
8 9	第54回松山まつりを開催（～11日）
17	第22回俳句甲子園全国大会を開催（～18日）
25	第34回トライアスロン中島大会・第25回ジュニアアスロン大会を開催 ③
9 1	G20労働雇用大臣会合を開催（～2日）
2	松山北高中島分校に給食提供を開始
7	素鷲地区まちづくり協議会準備会設立総会を開催
7	下水道デザインマンホール蓋お披露目式を開催
10	松山城小天守のほかに8棟が国の登録有形文化財（建造物）に登録
16	子規記念博物館が入館者500万人達成
20	市消防団、高浜地区自主防災連合会が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
24	市プレミアム付商品券を販売（～令和2年2月23日）
29	第36回まつやま市民シンポジウム（市制130年の歴史を振り返る温故知新クイズや超大年表すごろく）を（公社）松山青年会議所と共同で開催 ④
10 6	天童荒太さんを「いい、加減。まつやま」応援団の特別団員に任命
12	NHK松山放送局と連携し「NHKのど自慢」を開催（～13日）
26	MATSUYAMA DESIGN WEEK 2019を開催（～31日）
26	モザンビーク共和国代表チーム（ボクシング・パラリンピック陸上）が松山で合宿（～11月8日）
27	台湾代表パラリンピック柔道選手団が松山で合宿（～11月3日）
11 1	松山市・台北市友好交流協定締結5周年を記念し、台北市で道後神楽合わせイベントを開催（～4日）
4	中華民国サッカー協会と第32回オリンピック競技大会に向けた事前合宿等に関する協定を締結
8	エコ次亜事業が地球温暖化防止活動環境大臣表彰の対策技術導入部門で環境大臣表彰を受賞
18	海上保安庁長官から釣島灯台旧官舎などの活用について感謝状が贈呈
24	スペシャルドラマの放送から10周年を記念し、「坂の上の雲」トークイベントを開催



文化庁文化審議会が、松山城「小天守」「南隅櫓」「北隅櫓」「玄関」「玄関多間櫓」「十間廊下」「多間櫓」「筋鉄門」「内門」の計9棟を国の有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に答申し、国の有形文化財（建造物）に登録されました。



“松山の宝”を大切に子や孫の世代に受け継いでいくため、1月15日から、営業しながら保存修理工事に着手しました。7月19日には、建物の屋根や内部を風雨などから保護する素屋根と作業エリアを囲む仮囲いに巨大な火の鳥と道後温泉の歴史絵巻で装飾したラッピングアートが完成しました。



各国の閣僚級が集まるG20労働雇用大臣会合が9月1～2日に、本市で開催されました。「仕事の未来」について議論を行い、大臣宣言が採択されました。展示会や地元企業の視察も行われ、1日には、松山東高等学校の代表生徒が、英語で自ら考えた政策を提言しました。

## 安心して暮らせる



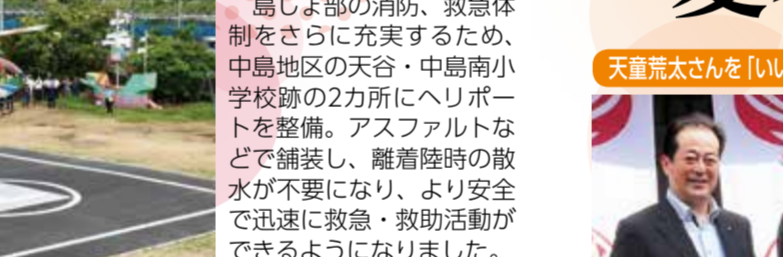
松山市防災教育推進協議会を設立  
全ての世代に防災教育を広げるため、東京大学、愛媛大学と連携し松山大学、松山東雲女子大学、聖カタリナ大学、松山東高等学校、市教育委員会、自主防災組織などの関係者を委員に加えた松山市防災教育推進協議会を設立しました。

### 地域包括支援センターの運営体制の変更・相談支援体制の強化



地域の高齢者を総合的に支援する地域包括支援センターの「城西・勝山」を「雄郡・新玉」「味酒・清水」に、「西」を「垣生・余土」「生石・味生」に分割。新たにサブセンターとして「浮穴・久谷」も設け、市内10カ所から12カ所と1サブセンターへ運営体制を変更。また、保健師などの専門職を増員し、相談支援体制を強化しました。

### 中島地区ヘリポート運用開始

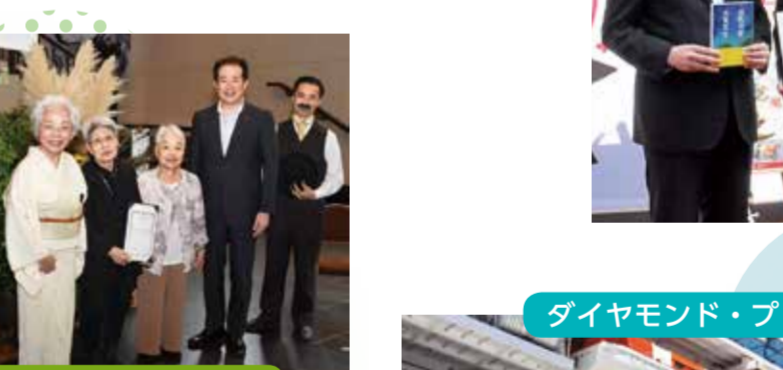


島しょ部の消防、救急体制をさらに充実するため、中島地区の天谷・中島南小学校跡の2カ所にヘリポートを整備。アスファルトなどで舗装し、離陸時の散水が不要になり、より安全で迅速に救急・救助活動ができるようになりました。

## いきいきと暮らせる



オリンピックの合宿誘致  
松山市は、県や近隣の市町と連携し、台湾やモザンビークのオリンピック代表候補選手の事前合宿などを受け入れるホストタウンに登録しています。中華民国マラソン協会選手団やマレーシアバドミントンジュニアチーム、モザンビーク共和国ボクシング、パラ陸上の代表チームなどが、本市で合宿を行いました。



子規記念博物館入館者500万人達成  
子規記念博物館の入館者数が、500万人を達成し、記念セレモニーが開催されました。正岡子規の世界を通して、多くの人に松山の文化・歴史に親しみ、理解を深めてもらうため、子規に関する常設展示のほか、特別展や特別企画展などを開催しています。



まつイチ体操交流・測定会を初開催  
「まつやま週イチ体操（まつイチ体操）」を継続して実施するグループ間の交流と今後の活動への意欲を高めるため、意見交換会や講義、体力測定会などを行いました。

### 松山北高中島分校に給食提供開始



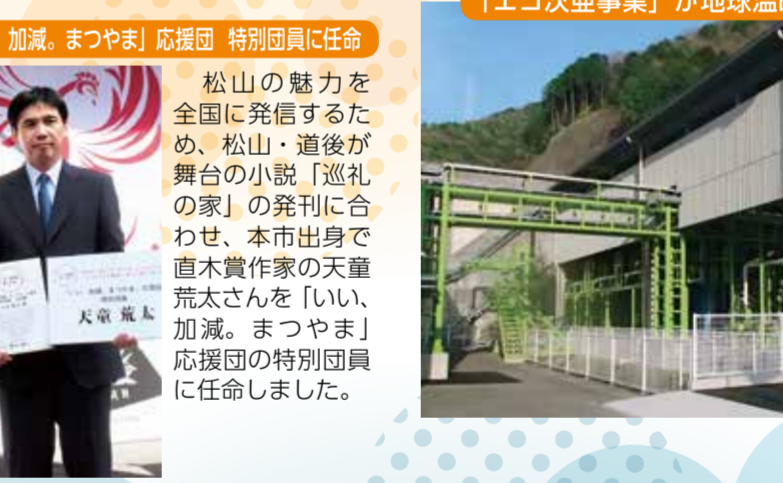
県立松山北高等学校中島分校への進学を後押しし、中島地域を振興するため、分校へ給食の提供を開始しました。

### 松山アーバンデザインセンター、松山ブンカ・ラボがオープン



公・民・学が連携してまちづくりを行う「松山アーバンデザインセンター」と、アートを活かしたまちづくりを連携して行う「松山ブンカ・ラボ」が花園町にオープン。誰でも活動の場として利用でき、スタッフが常駐し、気軽にまちづくりに関する相談が行えます。

## 愛着・誇り



天童荒太さんを「いい、加減。まつやま」応援団 特別団員に任命  
松山の魅力を全国に発信するため、松山・道後が舞台の小説「巡礼の家」の発刊に合わせ、本市出身で直木賞作家の天童荒太さんを「いい、加減。まつやま」応援団の特別団員に任命しました。

### ダイヤモンド・プリンセス初寄港

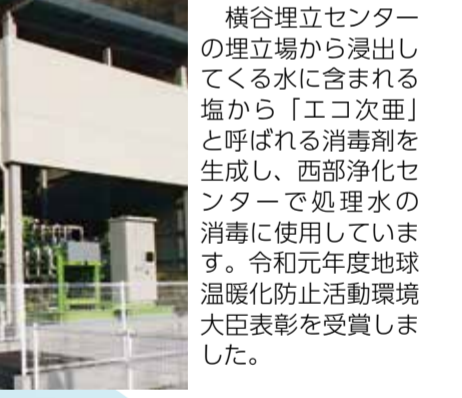


ダイヤモンド・プリンセス初寄港  
県などと連携して誘致や受け入れを行った大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が5月21日に松山市に初めて寄港しました。6月3日と合わせ2日間で延べ1万3千人の見物客が来場したほか、乗客は松山城や道後温泉など市内各所の観光を楽しみました。

# 特集 市政この1年

G20労働雇用大臣会合の開催や東京2020オリンピックの合宿誘致など、市民の皆さんに笑顔が広がる出来事を中心に市制130周年を迎えた今年1年の市政を振り返ります。(11月30日現在)

### 「エコ次亜事業」が地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞



「エコ次亜事業」が地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞  
横谷埋立センターの埋立場から浸出してくる水に含まれる塩から「エコ次亜」と呼ばれる消毒剤を生成し、西部浄化センターで処理水の消毒に使用されています。令和元年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞しました。

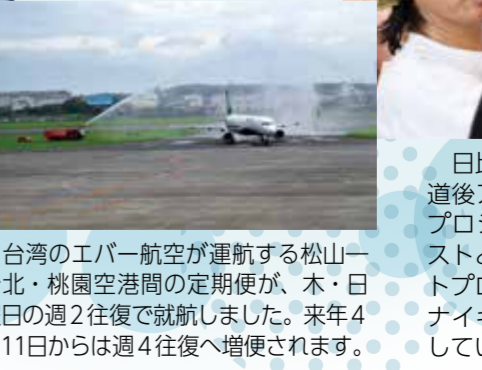
### 道後アート2019・2020 ひみつジャナイ基地プロジェクトスタート



道後アート2019・2020 ひみつジャナイ基地プロジェクトスタート  
日比野克彦さんを監修・アーティストに迎え、道後アート2019・2020「ひみつジャナイ基地プロジェクト」が5月からスタート。アーティストと市民が一緒になって楽しむ、参加型のアートプロジェクトで、ワークショップやひみつジャナイギャラリーなど6つのプロジェクトを展開しています（会期は令和3年2月28日まで）。

## 元気な産業

### エパー航空松山-台北線の定期便が就航



エパー航空松山-台北線の定期便が就航  
台湾のエパー航空が運航する松山-台北・桃園空港間の定期便が、本・日曜日の週2往復で就航しました。来年4月11日からは週4往復へ増便されます。